

めざせ名探偵！小酒井不木クイズ

クイズをしながら、小酒井不木について学びましょう。

第1問 次の○に当てはまる言葉を入れてみよう！

江戸川 乱歩(えどがわ らんぽ)

解説 小酒井不木は、天才探偵小説家ともいわれた江戸川乱歩のデビューを後押ししました。もし2人が出会わなければ、日本の探偵小説の世界は今とは違うものになっていたかもしれません。

第2問 不木は探偵小説のほかにも、いろいろな本を書きました。そのなかには、当時のベストセラーとなったものもあります。どんなタイトルでしょうか？

A 闘病術(とうびょうじゅつ) **B 二銭銅貨(にせんどうか)**

解説 『闘病術』は、病気の人と医学者の両方の立場から、病気の人の暮らし方について書いた本です。

『二銭銅貨』は不木の作品ではなく、江戸川乱歩のデビュー作で、不木がほめたたえた作品です。

第3問 不木の趣味はなんでしょう？

A 合唱 **B 発明** **C 俳句**

解説 不木は「ねんげ句会」という俳句グループを作りました。このグループは今でも名古屋を中心に活動しています。ちなみに、不木の娘は童謡の歌手、義理の娘は発明家になっています。不木の息子や孫は、医者道へ進んでいます。

第4問 不木の作品には、蟹江町を舞台にした話がある。○か×か？

A O **B X**

解説 『通夜の人々』というタイトルです。なんと蟹江町で起きた殺人事件(！)がモデルになっています。物語のなかでも「名古屋から西へ、三里ほど隔った蟹江という町に起った二つの悲劇である」と紹介されています。

～現代に生きる小酒井不木～

蟹江町には、小酒井不木の足跡をたどることのできる場所がいくつもあります。興味を持った方は、ぜひ足を運んでみてください。

○蟹江町歴史民俗資料館(城一丁目)

不木について知りたいなら、まずはココ。不木が実際に使っていた机や直筆原稿のほか、江戸川乱歩との手紙や乱歩が文字を書いた「不木碑」など、不木と乱歩の交流を示す資料も展示しています。



○蟹江町図書館(大字蟹江新田字札中地)

不木が書いた作品に興味があれば、蟹江町図書館で読むことができます。ただし、館内閲覧のみなのでご注意ください。図書館の東側には「小酒井不木生誕地碑」も建てられています。



○鹿島神社文学苑(大字蟹江新田字鹿島)

この鹿島神社文学苑には、蟹江の水郷風景をよんだ26の句碑が建てられています。そのなかには不木の句碑もあります。



○ショートムービー「死体蠟燭(したいろうそく)」

小酒井不木が書いた小説を映像化。おどろおどろしいタイトルのとおり、ミステリアスな作品となっています。このムービーは、資料館や蟹江町公式ウェブサイトからも見ることができます。

